

平成25年9月（第9回）教育委員会会議録

1. 開催の日時及び場所

平成25年9月24日（火）16:00～18:00
宇部市港町庁舎 2階会議室

2. 出席委員の氏名

縄田 和光 委員長
水田 和江 委員
三原 節子 委員
赤川 宏 委員
白石 千代 教育長

3. その他議場に参加した者

佐貫教育部長、辻村教育次長、金重総務課長、村重施設課長、安田学校教育課長、貞永学校教育課長同格、田中学校教育課長補佐、西村総務課長補佐、濱原総務係長

4. 傍聴者 なし

5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成25年9月24日 第9回の教育委員会会議を開催いたします。本日は5人の委員全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

また、本日は、傍聴の申し出はありませんでした。

会議録の承認についてですが、前回の会議でお配りしています第7回の会議録について、ご意見等ありましたか。

（全委員異議なし）

委員長： 異議がありませんので、第7回会議録については承認とさせていただきます。

また、前回の第8回の会議録については机上に配付しています。次回会議までにご覧いただき、次回の会議で承認を受けたいと思いますので、よろしくお願ひします。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は三原委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は、「宇部市立小中学校の適正配置について」と、その他の事項として「全国学力・学習状況調査について」、「教育費補正予算について」、「9月議会の報告について」、「寄附の報告について」となっておりますので、次第に沿って進めさせていただきたいと思ひます。

始めに「宇部市立小中学校の適正配置について」、事務局から説明をお願いします。

事務局： 最初に「小野中学校と厚東中学校の統合について」説明させていただきます。

前回の会議で説明させていただきました小野校区の関係者によるアンケート調査について、現在までの調査結果をとりまとめましたので、中間報告させていただきます。

(資料1に基づき、報告を行う。)

委員： 条件整備による統合に関する意見としては、どのようなものがありましたか。
事務局： 「条件整備」に関する直接的な質問は設けていませんでしたが、アンケート調査の間6で、統合が必要であると考えた理由に対する選択肢の中で多かった回答としては、「様々な個性を持つ友達と触れあうことができる」が300名、「良い意味で競争心が芽生え、学習意欲が高まる」が298名、「社会性や協調性を身につける機会に恵まれる」が285名となっています。

条件面としては、「教育環境が不利にならないこと」、「スクールバス等を使った通学が可能であること」、「高校への通学への配慮」などの意見がありました。

それ以外にも、山口市の中学校や厚東中学校以外の学校への通学を希望する意見もありました。

委員： アンケート結果の数値だけをもとに協議を進めていくと、後から、それ以外の要望がでてくる可能性があります。要望の内容をよく確認しながら、市として出来ることと出来ない事を検討していかないといけないと思います。

事務局： アンケート調査票を作成する時に、統廃合に対する要望事項については、協議会により削除した経緯もありますが、今回のアンケート調査では7～8割の方が条件整備により統合に了承している結果となっていますので、これから要望事項等を確認しながら協議を進めていきたいと考えています。

委員： 統合に対して「条件整備」を求めている人が約44%となっており、全体としても非常に大きな割合を占めています。教育委員会としては、今後どこまでの条件整備が出来るのか、はっきり示していかないといけないと思います。

委員： アンケート調査では、統合にあたり「通学的手段など条件が整ったら、止むを得ない」という設問になっています。他の条件整備の選択肢がありませんので、その点については、今後、確認しておく必要があると思います。

事務局： 他の条件整備に対する要望はあると思いますが、現在、協議を進めている中では、通学に関する条件整備への要望が強くあります。これから細かい要望事項については整理しながら、進めていきたいと思っています。

委員長： 他にご意見がなければ、次に「見初小学校と神原小学校の統合について」説明をお願いします。

事務局： 8月22日に「(仮称)見初・神原校区の新しい学校づくり準備委員会」を開催しましたので、その内容について説明させていただきます。

(資料1に基づき、説明を行う。)

なお、次回の準備委員会までに教育委員会の方針を示していくこととなりますので、よろしくをお願いします。

委員： 見初校区の委員の方から、「小中学校施設一体型でもよい」との意見がありますが、実際にどのくらいの方が希望されているのですか。

事務局： 当日会議に出席された6人の見初校区の委員の内、2人から意見をいただきました。

委員： 委員の発言要旨の中に「準備委員会では統合の協議ではなく、統合を前提に

協議をすべきでは」との意見がありますが、この意図は何でしょうか。

事務局： 準備委員会の位置付けとして、本来、統合を踏まえて協議する場であったはずですが、これまでの会議では、統合に対する論議が中心となり、前向きな協議が進んでいないことに対する発言です。

委員： 適正配置については、地域の意見を尊重して決定していくことが前提であったと思います。教育委員会としての方針も、出来るだけ早く回答していかないといけないと思っておりますが、統合に際しては、通学路の問題や、子育てに関係する団体、コミュニティ・スクール等のことも想定しながら、考えていかないといけないと思っており、それらに関する情報提供がもう少し必要なのではないのでしょうか。

事務局： 言われるとおり、学校を統合するとなると子ども会やPTA等、多くの関連する団体とも話していかないといけないことは、沢山あると思います。

委員： 教育委員会の方針を出すタイミングや時期もあると思いますが、子どもの教育の面から適切なタイミングを考えておく必要もあります。

委員長： 教育委員会として耐震化を平成27年度までに行うこととしており、期限は余りないはずです。

事務局： 結論を出す時期には来ていると思います。

個々の委員の方と話をすると統合に賛成している方が何人もいらっしゃいますが、その方たちは、準備委員会ではそのことをあまり発言されていません。このため協議会では、統合へ反発される意見が主流のように思われているところもあります。

教育長： 私も準備委員会に出席しましたが、神原小学校の委員の方は学校の耐震化のみを取り上げ、将来を見据えた子どもたちの教育環境についての議論がなされていない状況になっています。残念ながら、市民と協働した話合いが進められていないように感じています。

委員長： 見初・神原校区の適正配置については、教育委員会の方針等を示していかなければいけないとのことですが、今の状況では、結論を出すのは難しいと思われます。事務局では、協議会の意見を踏まえ、子どもたちの教育面からも統合への課題等を整理していただき、改めて協議したいと考えますが、皆さんよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 事務局で、引き続き、委員の方や関係者等へ説明や協議を進めていただきたいと思いますので、よろしく願います。

続いて「全国学力・学習状況調査について」説明をお願いします。

事務局： 平成25年度全国学力・学習状況調査については、4月24日に全市立小学校24校の6年生と全市立中学校13校の3年生を対象として実施しました。

このたび、国、県の状況及び本市の学校毎結果の通知がありましたので、報告させていただきます。

(資料に基づき、説明を行う。)

委員： 学力調査結果の活用として、保護者や地域に対してどのように公表していく

予定ですか。

事務局：各学校では学校運営協議会に対して公表していき、協議会の中で課題解決に向けた協議ができるようにしていきたいと考えています。

委員：この資料では、平均正答率による結果の比較となっていますが、これからデータを分析していくにあたり、小規模校では平均値よりも個々の分布状況を把握していくことの方が、実態把握に有効であると思いますが、いかがでしょうか。

事務局：調査結果については、質問項目別の結果についても作成しており、各学校に通知していくことから、教員は個々の状況についても把握できるようになっています。

委員：全ての先生が結果を見ることができるのですね。

事務局：自分の学校の結果については、見ることができます。

委員：校長先生のところで結果が止まってしまっただけでは意味が無いので、必ず、担当の先生まで結果が届くようにしていただきたいと思います。

事務局：全教員に結果が行き渡るよう、校長には指導していく予定です。

委員：最近では様々なデータ分析も可能となっていることから、個々の先生方に対しても課題の解決に繋がるよう工夫していただきたいと思います。

委員：学校で直接指導することができない、就寝時間や朝食の摂取等の生活習慣については、保護者への働きかけが重要ですので、その辺りについてもよろしくをお願いします。

委員長：これから、プロジェクトチームによる分析や、課題等の改善に向けた取組が行われるとのことですので、その時には、改めて報告をお願いします。

続いて「教育費補正予算について」説明をお願いします。

事務局：「教育費補正予算について」報告させていただきます。

既にご存知と思いますが、7月から実施していましたが新川小学校普通・特別教室棟耐震補強工事において、構造体の鉄筋の一部に著しい腐食が発見され、このまま工事と継続しても耐震化を図ることが困難であることから、当該工事を中止としました。

この校舎には普通教室をはじめ、特別支援教室や理科室、音楽室等も含まれており、円滑な学校運営を行っていく上では、早急に建替えることが必要となります。

このため、新しい校舎が完成するまでの2年間、仮設校舎をリースしなければならず、現在開会中の議会へ債務負担行為による補正予算を急ぎょ計上したものです。

(資料2に基づき、説明を行う。)

なお、皆さんの時間が許されれば、議題が終了した後、新川小学校の工事現場の状況について見ていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長：議題終了後に、新川小学校の現在の状況を見に行かれますか。

(全委員異議なし)

委員長：それでは、議題が全て終了した後、皆さんで新川小学校に出向き改めて現地

での説明をお願いします。

続いて「9月議会の報告について」をお願いします。

事務局：平成25年9月（第3回）宇部市議会定例会が9月6日に開会し、10日から12日に一般質問がありました。

教育委員会には7人の議員さんから11点の質問や要望があり、その内容については資料3にまとめておりますので、ご参照していただければと思います。

委員長：議会の質問について、不明な点や確認したいこと等ありましたら、次回の会議でお願いします。

最後に「寄附の報告について」をお願いします。

事務局：（資料4に基づき、報告を行う。）

委員長：議題については以上ですが、委員の皆さんや事務局から何かありますか。

事務局：水田委員さんの教育委員としての任期が平成25年10月3日までとなっております。このことについて、同議会において再任の同意が得られましたので、報告させていただきます。なお、任期は平成25年10月4日から平成29年10月3日までの4年間となっております。

委員長：他にありませんか。

他に無ければ、一度会議を閉じさせていただきます。

（新川小学校へ移動）

事務局：現在工事は中断していますが、実際に現場を見ていただきながら、説明させていただきます。

（現状を確認しながら、事務局から説明を行う）

委員：鉄筋が腐食した原因はどこにあったのでしょうか。

事務局：原因の特定はできませんが、柱のコンクリート材料に海砂が使われたことで、その内部にある鉄筋がさびた可能性が考えられます。

委員：建替える場合に、国等の補助はありますか。

事務局：建替えには約6億2,300万円必要となりますが、そのうち国の補助金は約7,400万円、市債は約1億8,900万円程度が見込まれます。なお、市債のうち約1億2,700万円は交付税措置がされると思われれます。

委員：今使われている校舎の渡り廊下にさびがでていましたので、少しでも子どもたちの教育環境を良くするため、補修をお願いします。

事務局：必要な補修については、安全面を優先しながら対応しているところです。

委員長：建替えには多くの時間と費用がかかりますことにはなりますが、子どもたちの安全を第一に考えて工事を進めていただきたいと思います。

以上を持ちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。

（新川小学校にて解散）